



杉並区立杉並第五小学校 TEL3392-6528

弄花香滿衣

校長 東海林 孝 吉

「花をもてあそべば、香り衣に満つ」なんとも気品溢れる18文字です。春の暖かな野辺の草むらで子どもたちが花摘み野遊びをしているうちに、その花々の快い香りが子どもたちの衣服に移って、ふと気がつくといつの間に自分の体全体が花の良い香りに満たされている、そんな姿が目に見えます。

教育は、感化であると言われます。「弄花香満衣」という言葉は、感化の教育を如実に言い表し論してくれる言葉だと思います。花と遊ぶ子どもは、杉五の子。そしてその子どもたちに良い香りをつける花は、私たち教師と親である大人たちです。

「校長先生、先生たちってどうして皆、運動靴はいてるの」と、ピカピカの一年生はとても敏感です。「あの先生はいいなあ。休み時間遊んでくれて」「先生怒ると怖いけど、とてもやさしいから好き」と上級生は鋭いです。

子どもたちは、教師の一挙手一投足をよく観ています。髪形や服装の変化、何気ない表情や言動をよく観ていて、子どもたちの発する言葉にはっとすることが度々あります。慈雨の大地に沁み入る如く、毎日の生活の中でじわりじわりと沁みこんでいく感化の教育こそ子どもの人格形成に大きな影響を与えます。

「私が先生になったとき」

私が先生になったとき

自分が真理から目を背けて

子供たちに本当のことが語れるか

私が先生になったとき

自分の未来から目を背けて

子供たちに明日のことが語れるか

私が先生になったとき

自分が理想を持たないで

子供たちにいったいどんな夢が語れるか

私が先生になったとき

自分が理想を持たないで

子供たちに胸を張れと言えるか

私が先生になったとき

自分がスクラムの外にいて

子供たちに仲良くしろと言えるか

私が先生になったとき

一人手を汚さずに 自分の腕を組んで

子供たちに頑張れ、頑張れと言えるか

私が先生になったとき

自分が戦いから目を背けて

子供たちに勇気を出せと言えるか

【作者は宮澤賢治とか作者不明の説あり】

感化の教育には、そのための環境づくりが必要です。環境というと施設設備の環境を思い越しがちですが、子どもに最も大きな影響を与える環境は、人的な環境です。とりわけ、親と教師の影響が一番だと思います。「子どもを見れば親がわかる」と昔から言われているのもそのためです。そして、人間性豊かな教師から薫陶を受けられる子どもたちは幸せであると思います。

いつの時代でも子どもたちは感化されて育つのですから、教師や親に求められるのは、自らを律する姿勢であると思います。

そして、同じ教師や親からでも、子どもたち一人ひとり、受け止め方が違います。素直に聞く姿勢や学ぶ姿勢のある子は、教わったこと以上のことを身に付けます。さらに、家庭や地域社会が、上記の詩のような「先生」になっているとき、子どもたちは人としての生き方を学びます。

春爛漫、生命の躍動する五月、杉五小の教職員は自らを律しながら頑張ってまいります。

．．．．． 今月の目標 ．．．．．

生活の目標

学校をきれいにしましょう
(ものを大切にしましょう)

保健の目標

自分のからだを知ろう

給食の目標

時間を守って
食べましょう